

国際交流基金ブダペスト日本文化センター日本語講座

(2015年12月現在)

相川弓映

1. 機関概要

名称: 国際交流基金ブダペスト日本文化センター

(英語表記) The Japan Foundation, Budapest

(ハンガリー語表記) Japán Alapítvány Budapesti Iroda

所在地: Aradi u. 8-10, 1062 Budapest, Hungary

電話: +36-1-214-0775/6 Fax: +36-1-214-0778

2. 日本語講座の位置付け

一般社会人を対象とした夜間講座。総合コースでは、初級から上級まで学ぶことができる。その他、文化日本語コースやトピックコース等、多様なコースが整備されている。

国際交流基金より日本語専門家が2名派遣されており、JFスタンダード、及びCEFRの理念に基づいた日本語教育を実施している。また、コンピューターやプロジェクター、タブレットPC等のICT機器が整った環境を活かし、ICT日本語教育の促進を目指す。

3. 沿革

1991年 設立

1992年 ハンガリー現地日本語教師に委託し、日本語講座を開始

2000年 日本語上級専門家派遣開始

2004年 国際交流基金ブダペスト日本文化センターが日本語講座の直接運営を始める

2005年 日本語ジュニア専門家(現・日本語専門家)派遣開始、以降日本語専門家が日本語講座担当主任となる

2008年 JFスタンダード、CEFRに基づいた can-do 目標を日本語講座に取り入れ始める

2010年 ポートフォリオ、タブレットPC、独自作成の漢字冊子(『漢字ステップ』)導入開始

2011年 日本・ハンガリー協力フォーラム事業で作成された『できる』1冊目の使用開始、短期日本語コース及び、文化日本語コース開始

2012年 『できる』2冊目の使用開始、トピックコース開始

2013年 準備コース開始

2014年 反転動画使用開始、川柳コンテスト実施開始、短期日本語コース廃止

2015年 『漢字ステップ』を『できる』に合わせ改訂

4. カリキュラム及びコース概要

日本語講座は、9～2月、2～6月の2学期制となっている。コースは以下の4つのコースがある。2015-16年の実施状況を以下に示す。

総合コース

90分×週2回(ハンガリー人教師・日本人教師のチームティーチング制)、前期30回

＋期末試験、後期 30 回＋期末試験、年間 62 回実施。クラスレベル及び使用教科書は下図の通り。

クラス	レベル	使用教科書
G1A	A1	『できる』1～12 課
G1B		
G1-2	A1-A2.1	『できる』7～18 課
G2A	A2.1-A2.2	『できる』13～24 課
G2B		
G3	A2.2-B1.1	『できる』25～36 課
G4	B1.1-B1.2	『できる』37～48 課
G5	B2.1-B2.2	『できる日本語中級』1～10 課

A・Bは便宜上の振分け、レベル別ではない

準備コース

90 分×週2回(ハンガリー人教師・日本人教師のチームティーチング制)、全 10 回のコース。年間 4 コース実施している。

準備コースは、総合コースに入る前の日本語ゼロ初級を対象としている。ひらがな・カタカナ、数字、簡単なあいさつ等の習得を目指すコースである。

文化日本語コース

90 分×1 回のみ単発コース。2015-16 年は年間 10 回、以下のトピックで実施。

書道／伝統ゲーム／ふろしき／方言／茶道／武道／キャラ弁／アニメ・漫画／着付け／お盆

文化日本語コースは、日本文化を体験しながら、日本語に触れてみるコースである。ゼロ初級から上級レベルまで、様々なレベルの学習者が参加している。

トピックコース

90 分×週1回、全7回のコース。年間 8 コース実施している。2015-16 年は以下のトピックで実施。

自律学習／本を読もう／学術的文章の書き方／「わたしの日本語」で話そう・書こう／調べて発表しよう 自律学習のみ年間4コース実施